



特選 やざろ寒離れは風の通り道 高橋まり元 北海道

入選 縁側に來客のある紅葉かな もふもふ 千葉

奨励賞 別邸の夕暮れ遅し蟲すだく 源美代子 熊本

奨励賞 杏脱の石に跳ねるや秋時雨 伊藤京子 愛知

奨励賞 寝る脳の聴覚野へと虫のこゑ 小田龍聖 兵庫

秋

第五回俳句つオト夏口漱るの旅 (課題部門)

特選 晩秋の影を踏みゆく野道かな 堀ノ内和夫 奈良

入選 稲架の香や夕日にうかがふ三ノ岳 奥村こうぶん 東京

奨励賞 雁渡り峠の茶屋のだんご汁 山崎泰介 佐賀

奨励賞 赤とんぼ風は四方より旅かばん 鈴木良二 埼玉

奨励賞 峠路の刈田となりし里曲かな 松田素風 千葉

奨励賞 羽ばたきの一打響きし冬田かな 木幡忠文 東京

奨励賞 電柱の影に芯あり刈田原 丹羽梓 三重

奨励賞 赤蜻蛉連れ鳥越の峠越ゆ 小田和子 兵庫



同 開け放ち残雪を迷がす離れかな 小田中華 千葉
 同 桐一葉散鳥啼かす湯浴客 近江重花 滋賀
 同 奥の條トーテムポールの生き身魂 ホテン 三重
 同 にわたすぬ寓居の石に落ち紅葉 幸田朝牛 千葉
 同 那美さんは鈴虫となり里帰り 田中恵美子 福岡
 同 縁に居て身ほとりに知る秋意かな 薫風 栃木
 同 縁側に亡父の声や秋彼岸 橋政孝 千葉
 同 二三枚浮かぶ紅葉や水鏡 野島正則 東京
 同 峰に佇み霞霧纏れて峰に港ゆややく心 神奈川
 同 屋台骨秋風に晒し思ひ家 ちわりねこ 東京
 同 来し方を知りし座敷を秋夕曉はくれ雲 東京
 同 寝転んで斜め軒先に香空 藤井京子 広島
 同 草枕小鳥囀る離れ庭 田中正博 東京
 同 雨の痛み握へ月の座へと誓ひ 小田慶章 兵庫

審査 岩岡中正・田島三間・村田由美

同 初夢や叶ふ枕に粉の殻 柳谷益弘 静岡
 同 稲架の穂がガン読みたる農婦あり 古賀由美子 佐賀
 同 秋高し踏みしめてなれる景 小野みち 東京
 同 三密に縁なき葉山多佇みぬ 松下弘美 埼玉
 同 漱るをハルキで知る秋の風 三浦 愛知
 同 味通はランウェイと交つ葉山多 堤 善孝 愛媛
 同 峠道抜ければ里は稲の秋 堀中 千葉
 同 カマビエの葉山多寝病みも追ひ松ひ 小野道山 大分
 同 秋麗ワルツ踏んでる稲の穂よ 市場里枝 大阪
 同 草枕キヤストを葉山多に一人旅 だひちゃん 大阪
 同 黄金田へスブリ掉刺す葉山多かな 池田 埼玉
 同 草枕蜜柑の香る道を行く 小林健二 北海道
 同 秋晴れの夕夕夕は思案坂 橋本 愛知
 同 沿道終元穿樹頭した葉山多かな 孫田 神奈川
 同 人間を休み葉山多になつた夢 三浦 千葉
 同 秋風に吹かれて思ふ人の世を 馬場和義 大阪
 同 秋の暮振袖を襟袖し 馬場鈴代 大阪
 同 稲穂舞うところは鳥越え草枕 黒飛藤台 広島
 同 稲刈りや思ひ出させり茶屋の餅 中原政人 千葉
 同 風なびく稲穂に集めてはむ道 若槻泰治 東京
 同 細雪に峠の田には稲架線 磯九蓮 東京
 同 嵐纏く今年はせーつ葉山多ささ 山田和彦 愛知
 同 稲の充実我が茶舗の空疎 遠藤務奈 東京
 同 カンバスに稲田描かん豊の秋 中安喜広 京都
 同 漱るの古道に聞く稲田かな 宮川和子 熊本
 同 声かする稲千す先の峠道 村田紀子 滋賀
 同 人生の中間地点 天高し 西村芳和 滋賀
 同 葉山多稲あふあたりかと葉山多いふ 仲田誠 鳥取
 同 俯瞰する田には蝶の健脚が 紫苑 千葉
 同 鳥越峠も越えられぬ此の風 からは 岐阜
 同 鳥越の峠に苅田振がりて 稲葉高飛船 千葉
 同 峠道おいと噂のは葉山多かな 鎌田美奈子 熊本
 同 大空と峠と稲田秋一つ 小見伸雄 滋賀
 同 峠越え刈田広がる空青きやんちゃん 福岡
 同 ほみにくき霞の世貴く秋の道 久保田聡 神奈川
 同 峠道葉山多に会釈秋口秋 月坂武弘 京都
 同 実ったかコロト 穂散新秋 小坂 京都
 同 友と笑み座して眺むる稲田かな 小田虎賢 兵庫
 同 半世紀守り続けた稲田かな けろね 大阪
 同 山道や葉山多が守る峠の秋 眞理子 東京
 同 国難を越えて稲穂のコーリン 川野誠 大分
 同 秋口乗草枕の道に影をさす 山野胡桃 愛知
 同 葉山多女つ何を思ふや稲架の橋 澤田謙子 徳島
 同 秋の田の変わりらぬ様に中休む 雪密 愛知
 同 里帰り叶はぬ多等へ今年も 小川裕子 熊本
 同 夕暮の葉山多ほつんと 稲田誠 小川京子 熊本